

# ▼国際絞り会議を終えて▲ ”ものづくりの心を伝え合う“

久納 剛 資

町並みというステージの上で語り明かした絞り技術の心と心。文化交流の場として、町並みが似合う。  
多くを語らず、ただそこに黙ってたたずむだけ……とはいえ、存在感はしっかり落ち着き払って、いてなお、歴史を黙々と語りかけてきている。



不思議な歴史空間の演出にも助けられて、今日新たな一歩が絞りを携わっている一人として踏み出すことができることに、喜びと感謝を先人に申し述べたいと思います。

かつて先人達の誰もが体験出来なかった事が、昨年開かれた国際絞り会議でありました。  
世界のいたるところで自然発生的とはいえないものの、海外の多くの絞り仲間と一同に会することができたこの度においては、共通した技術でもって生まれ出た「絞り」と「絞り」、「人」と「人」、それぞれにおいてすばらしく融合化できたように思います。  
環境の違いなど乗り越えたところにお互いが位置していたことが、よい結果を得られたのだと思います。  
この時代に生き、次の世代に受



け渡すべく絞りの姿を真剣に考え取り組んだこの会議を、本当の意味でも成功の結果として導くためには、お互いの持っている技術ないしは人格を尊重することです。そして海外の人達にとっても忘れない「出合い」をよりつくりあっていくことです。環境の違いこそあれ絞りをもって生活する人々の心の支えになったことは間違いないでしょう。そして今後より多くの絞り仲間の心の支えになるよう努力していきたいと思えます。  
と同時に絞りの町が世界の発信地に成り得ることを信じて。……

## 俳句



鳴海町細根在住  
雪解、名古屋  
クラブ

### 花の屋

加藤坊声

施茶飲みて 盆に賽置き  
遍路去る

新任の 教頭囲む

花の屋

武者幟 はためく家並

古りし町

